

FUTURE TRUST REPORT

新型金銭信託<フューチャートラスト> レポート

豊かな社会をつなぐ

次世代にサステナブルで



© シンジル & タクセル



三井住友信託銀行

2026
08

豊かな社会のために

現代の社会は、地球温暖化や生物多様性の保全、
貧困や人権侵害、健康被害の拡大など
さまざまな課題を抱えています。
これら課題解決のためには、
多くの資金が必要となる場合があります。
フューチャートラストは、そのような社会課題に対して、
社会・環境・経済の分野で
解決に取り組む企業などへの融資に充当する
新しい金銭信託です。

フューチャートラストレポートの電子交付

2026年3月号から、ご希望のお客さまには電子交付サービスを通じてフューチャートラストレポートをお届けしています。
紙の使用を減らし環境に配慮できるだけでなく、いつでもどこでも手軽にご覧いただけるのが特長です。環境への配慮と利便性を両立する選択として、電子交付サービスをご利用いただけますと幸いです。小さな選択が、大きな未来につながっていきます。
※電子交付サービスの詳しいサービス内容は、最寄りの店舗窓口までお問い合わせください。

社会

AIの普及により、世界の労働市場では業務内容や求められるスキルが変化しています。多くの企業で、業務の自動化・効率化が進み、AIの活用が広がる中、人とAIがそれぞれの強みを生かしながら、持続可能な社会をどのように実現していくかが重要な課題となっています。

私たちににとって大切なことは？

仕事の中身が変わっても、人と人とのつながりや、誰かを思いやる気持ちの価値は変わりません。変化を前向きに受け入れ、必要なスキルを身につけながら、一人ひとりが自分らしい役割を見つけていくことが、より良い社会の実現につながります。

環境

温室効果ガス（GHG）の排出を抑える導入されています。これは、GHG排出にする仕組みであり、世界のGHG排出量です。こうした動きは企業だけの話では私たちの生活にも影響があると言われ

私たちの生活は？

環境負荷に配慮した企業や製品が選が進みます。私たち一人ひとりの選択せる未来の実現につながっています。
※出所：International Carbon Action Partnership (ICAP)

為、「排出量取引制度」が、世界各国で価格をつけ、企業同士で排出枠を売買の約4分の1が売買の対象※となっています。エネルギーや製品価格を通じて、

ばれることで、社会全体の脱炭素化も、豊かな自然を守り、安心して暮ら

“Emissions Trading Worldwide Status Report 2026”

経済

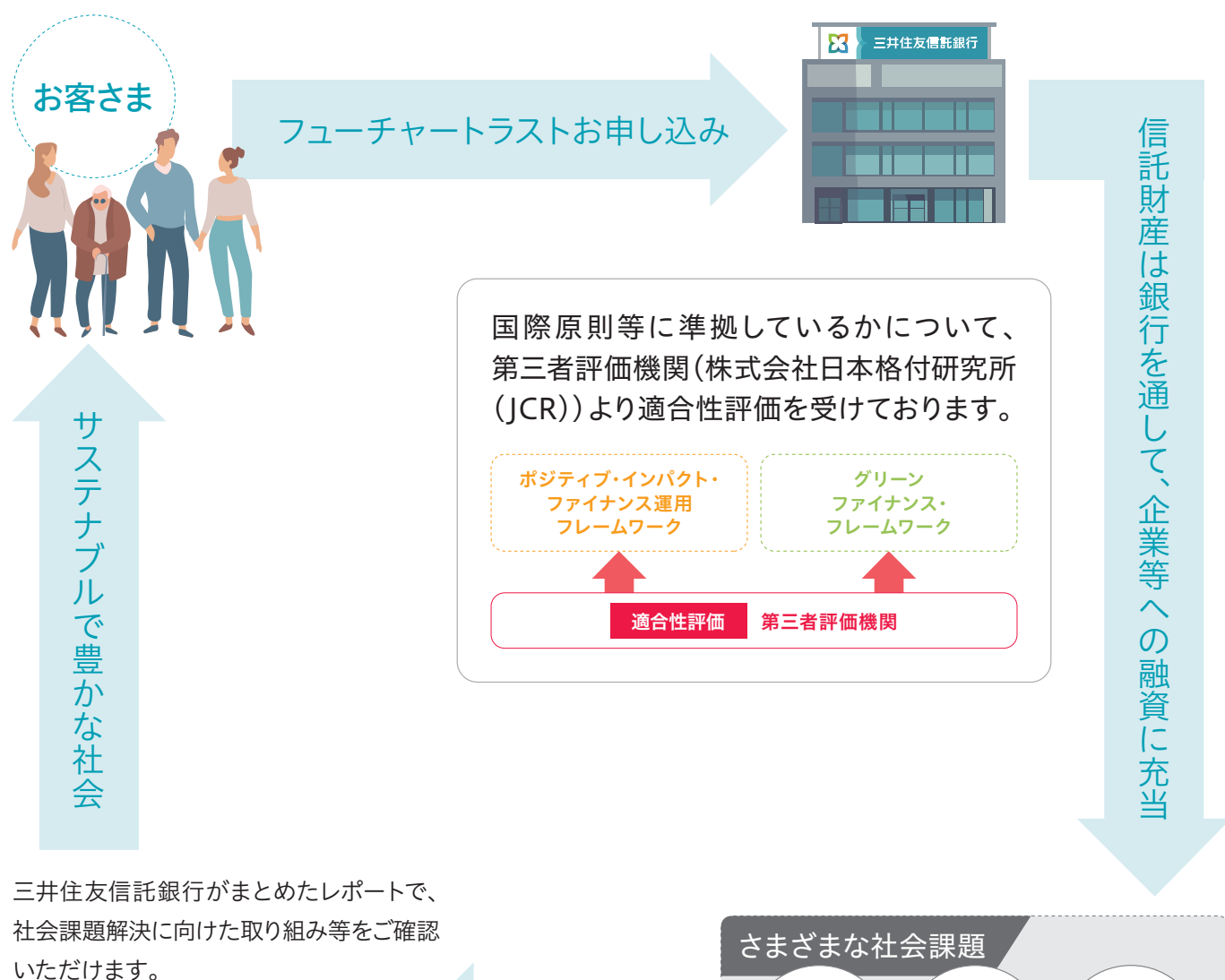
世界的に物価上昇が続く中、エネルギーや食料など生活に欠かせない支出の割合が増えています。
家計負担が増える要因として、賃金の上昇が物価の上昇に追いついていないことがあげられます。見直しが難しい支出も多く、将来への安心を確保しながら暮らしの質を維持していくことが課題となっています。

私たちににとって豊かな暮らしとは？

家計の余裕が限られる中だからこそ、本当に大切なものにお金を使うことが、豊かな暮らしにつながるのではないのでしょうか。家族との時間や健康を大切にし、将来へ備えを確保しながら、自分らしく暮らしていくことが重要です。

フューチャートラストによる 社会課題解決への貢献

フューチャートラストの仕組み



三井住友信託銀行は、日本経済の発展のため、企業の設備投資や復興、その時代におけるお客さまや社会の課題に応じてきました。現在も、私たちはさまざまな社会課題に直面していますが、その解決には多くの資金が必要です。フューチャートラストでお預かりしたご資金は、当社の銀行勘定を通じて、サステナブルで豊かな社会にするためのプロジェクトや企業への融資に充当されます。

フューチャートラストの資金充当状況

ポジティブ・インパクト・ファイナンス

企業活動が社会・環境・経済にもたらす影響を包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトを増大することとネガティブなインパクトを低減することについて目標を設定し、その実現に向けた継続的な支援を目的としたファイナンスです。当社とポジティブ・インパクト・ファイナンスを契約した企業(一部企業を除く)に融資金額に応じた割合で資金を充当しています。

グリーンファイナンス

環境配慮型不動産(グリーンビルディング)、再生可能エネルギー発電、クリーン輸送等、環境改善効果のあるグリーンプロジェクトを資金充当対象としたファイナンスです。グリーンファイナンスの各融資案件とフューチャートラストでお預かりした資金を紐づけ、資金を充当しています。

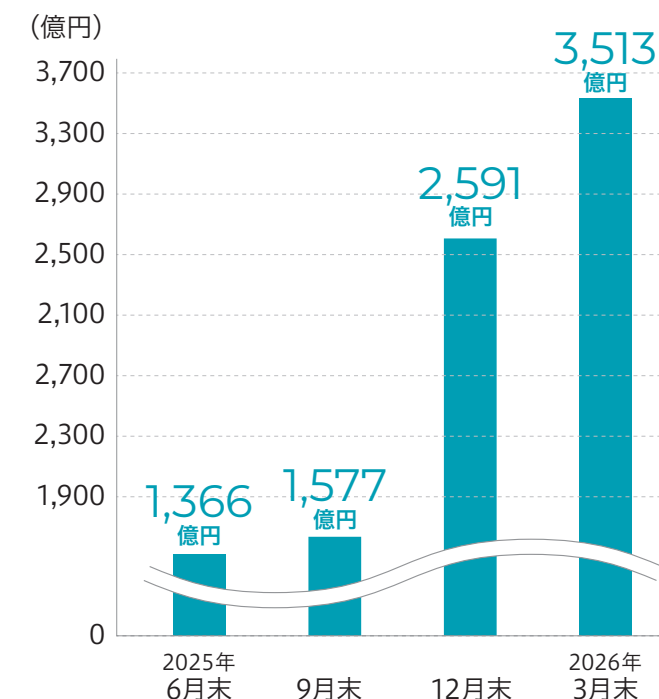
フューチャートラストの資金充当状況 (2026年3月末資産残高分)

ポジティブ・インパクト・ファイナンス 1,176 億円

グリーンファイナンス 2,337 億円



フューチャートラストの 資産残高推移



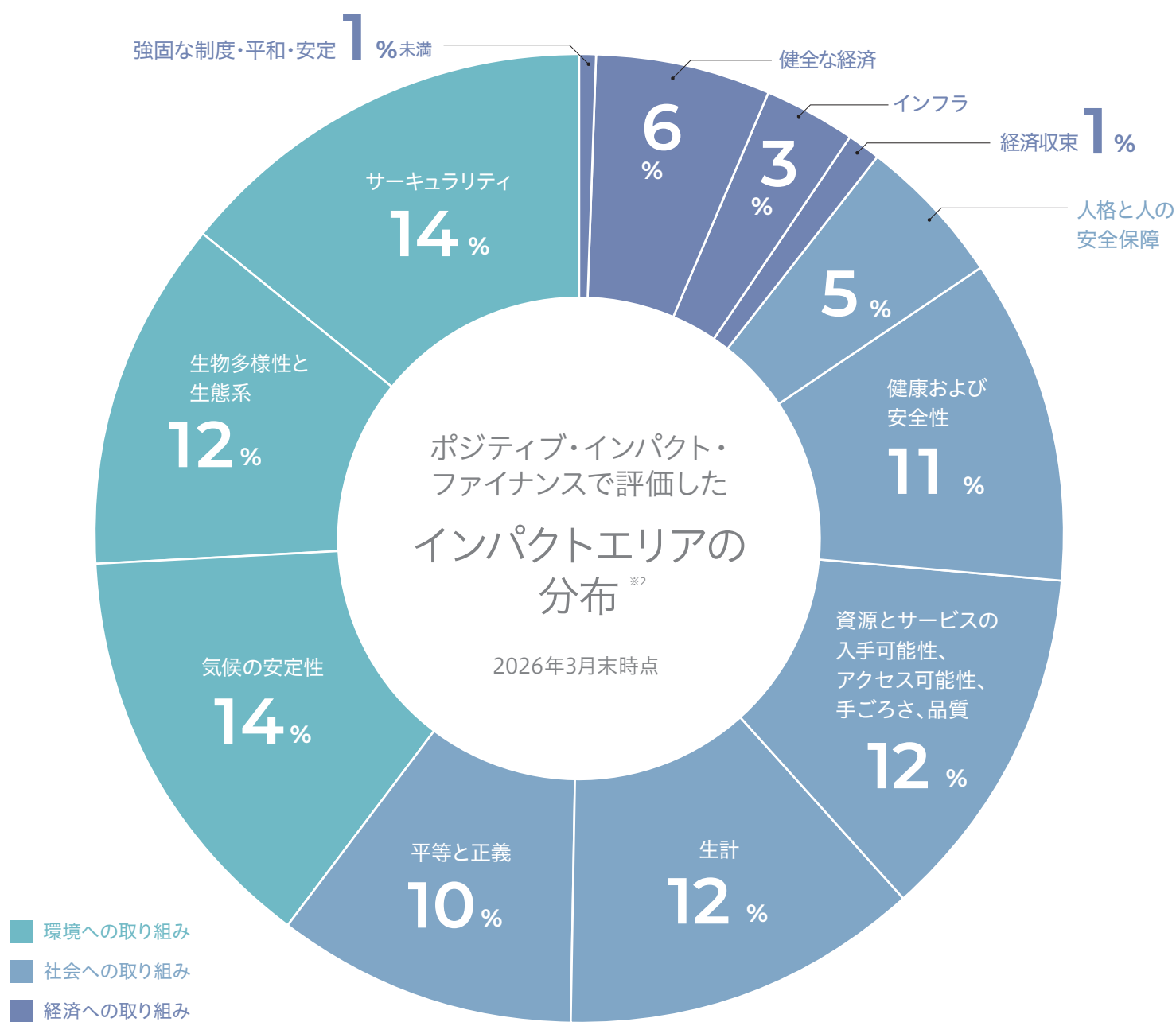
01 ポジティブ・インパクト・ファイナンス

ポジティブ・インパクト・ファイナンスで評価する

12のインパクトエリア^{※1}

ポジティブ・インパクト・ファイナンスは、企業活動が社会・環境・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を包括的に分析・評価し、当該活動の継続的な支援を目的とした融資です。

ポジティブ・インパクト・ファイナンスでは、12のインパクトエリア（影響範囲）からテーマを特定し、各企業と協議の上、KPI（指標）を設定します。



※1 「UNEP FI IMPACT RADAR 2022」に基づき、CSRデザイン環境投資顧問が仮訳・作成 (<https://greenfinanceportal.env.go.jp/pdf/114286.pdf>)
 ※2 ポジティブ・インパクト・ファイナンスを契約した企業のうち、フューチャートラストでお預かりしたご資金を充当した企業において特定されたインパクトを属性毎に分類したものです。

社会への取り組み

✓ 人格と人の安全保障

現代奴隷や児童労働、紛争といった個人の人格や品位を損なう出来事からの解放を意図します。

フェアトレード^{※3}

人権アセスメントの実施^{※4}

✓ 健康および安全性

労働災害の防止や交通事故の削減等、人々が身体的・精神的・社会的に良好な状態を確保できることを目指します。

健康経営への取組^{※5}

✓ 資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質

安全で手ごろな価格の水、食糧、住宅の供給や教育及び情報へのアクセシビリティ向上等が該当します。

安全で快適なまちづくり

✓ 平等と正義

男女や民族・人種等に代表される差別を無くし、平等な社会を実現することを意図します。

男女育休取得率の向上

ローカルスタッフの採用^{※6}

✓ 生計

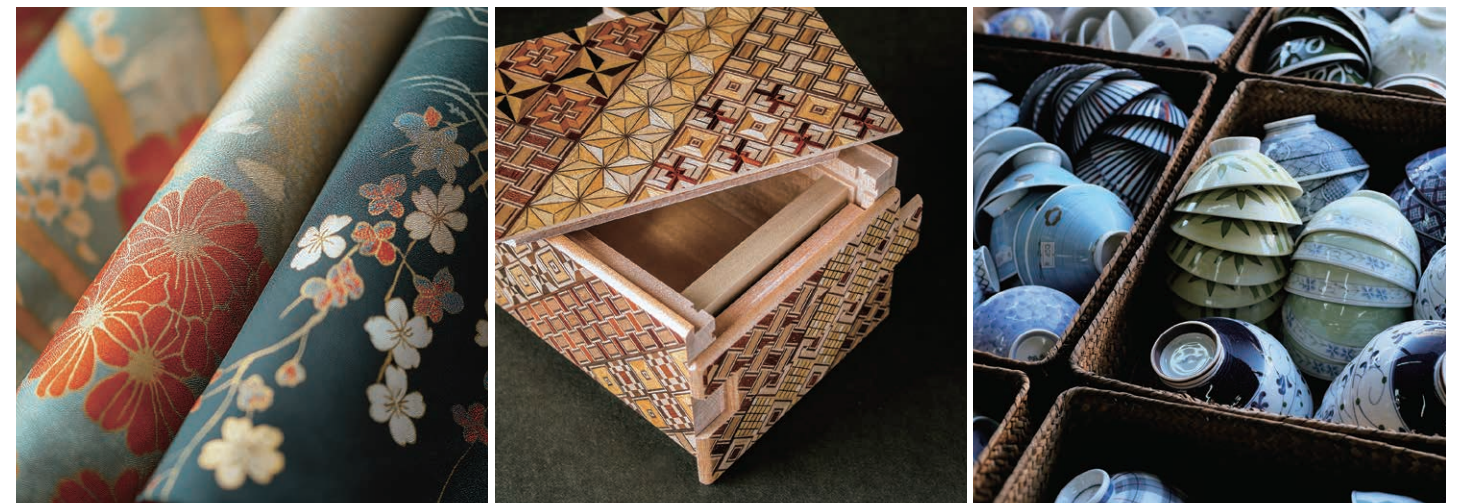
働き甲斐のある仕事や適切な賃金制度、雇用機会の増加や労働者の権利確保等が該当します。

正規労働等 安定的収入源の創出

日本の伝統を未来へつなぐ^{※7}

日本には、伝統工芸や受け継がれてきた技術など、長い年月をかけて育まれてきた大切な文化があります。これらは私たちの暮らしや社会を支える貴重な財産ですが、近年は担い手の高齢化や後継者不足、生活様式の変化などにより、その継承が難しくなるケースも見られます。こうした文化や技術を

未来へつないでいくことは、日本の文化に関わる重要な社会課題の一つです。私たち一人ひとりがその価値を知り、理解を深めることが、日本の大切な文化を未来へ受け継ぐ力につながります。



※3 対話・透明性・敬意の精神に根ざし、より公平な条件下で国際貿易を行い、持続可能な発展に貢献する取り組みです。 ※4 企業の活動を通じたステークホルダーが被る人権への負の影響の可能性を特定し対処していく取り組みです。 ※5 従業員の活力向上や生産性向上等、組織の活性化をもたらす健康投資を戦略的に実践する取り組みを指します。 ※6 海外拠点でのビジネスにおいて、現地スタッフと日本人スタッフとの間で雇用機会等に差を設けない取り組みを指します。 ※7 本ページで紹介している社会・環境・経済に関する課題はあくまで一例であり、当社のポジティブ・インパクト・ファイナンス契約先企業の取り組みに限定されません。

環境への取り組み

✓ サークュラリティ

廃棄物の削減や天然資源の効率的な利用等が該当します。

廃棄物の3Rの推進※8

持続可能な原材料の調達

フードロスの削減

✓ 気候の安定性

温室効果ガス排出量の削減・除去等の気候変動対策が該当します。

再生可能エネルギーの利用増加

環境不動産認証※9の取得率向上

✓ 生物多様性と生態系

水質・大気・土壌汚染防止、生物種の保護や陸生・海洋生態系の維持等を意図します。

森林保全等の取組による生物多様性の維持・向上

気候変動から起こる課題 ※10

近年、日本各地でクマなど野生動物が人の生活圏に出没する事例が増えています。背景には、気候変動による森林環境の変化などがあり、動物と人の距離が近づいています。実際、餌となる木の実の不作や生息環境の変化が動物の行動を変え、人との接触が増えていると指摘されています。こうした

現象は単なる被害の問題ではなく、生態系のバランスの変化を示すサインともいえます。私たちは自然と対立するのではなく、その変化を理解し、共存することを前提に社会のあり方を考えていくことが求められています。



※8 Reduce、Reuse、Recycleの3つの活動を通じ、循環型社会の構築を目指す取り組みです。

※9 エネルギー性能等、優れた環境価値に対して認証を受けた建物を取得することで、持続可能な社会を目指す取り組みです。

※10 本ページで紹介している社会・環境・経済に関する課題はあくまで一例であり、当社のポジティブ・インパクト・ファイナンス契約先企業の取り組みに限定されません。



経済への取り組み

✓ 強固な制度・平和・安定

法令遵守、汚職や贈収賄等の撲滅を意図します。

違法な資金や武器の流出・組織犯罪の撲滅

盗難された資産の回収や返還

✓ 健全な経済

新しい市場の開発や零細・中小企業の繁栄等が該当します。

スタートアップ企業支援

自動化・省人化を通じた生産性向上

✓ インフラ

送電網や輸送システム、衛生ネットワークの整備等の経済、社会インフラ確保が該当します。

スマートシティ化※11

オンラインマーケットの普及

✓ 経済収束

各国間の経済格差が是正され、平均所得水準の不平等が軽減されることを意図します。

国家の経済政策

健全な経済に向けた「自動化」とは ※10

近年、無人レジやオンラインサービスの導入が進み、省人化・自動化の流れが広がっています。こうした変化により、人と接する機会が減り、どこか不便さや寂しさを感じる場面もあります。その一方で、背景には人手不足等の社会課題があり、限られた人材でサービスを維持するための重要な取り組みでも

あります。自動化によって業務の効率化が進むことで、サービスの継続や価格の安定につながり、私たちの暮らしを支える役割も果たしています。私たちはこうした変化を単なる効率化として捉えるのではなく、持続可能な経済活動を支える取り組みとして理解する視点も大切になっています。

※11 デジタル技術を活用して社会課題の解決と経済発展を両立させながら、都市機能の効率化・最適化を目指す取り組みです。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス取組例 ― 王子ホールディングスにおける持続可能な森林経営 ―



王子グループは、1873年の創業以来150年以上にわたり、製紙事業を基盤として発展してきた総合紙パルプメーカーです。現在は、パッケージング、機能材、資源環境ビジネスなど幅広い事業を世界で展開しています。国内外に

約64万ha(東京都の約3倍)の森林を保有・管理し、「森林を健全に育て、その森林資源を活かした製品を創造し、社会に届ける」ことをパーパスに掲げ、持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

テーマ

持続可能な森林経営

詳細はこちら



本テーマのインパクトエリア(影響範囲)

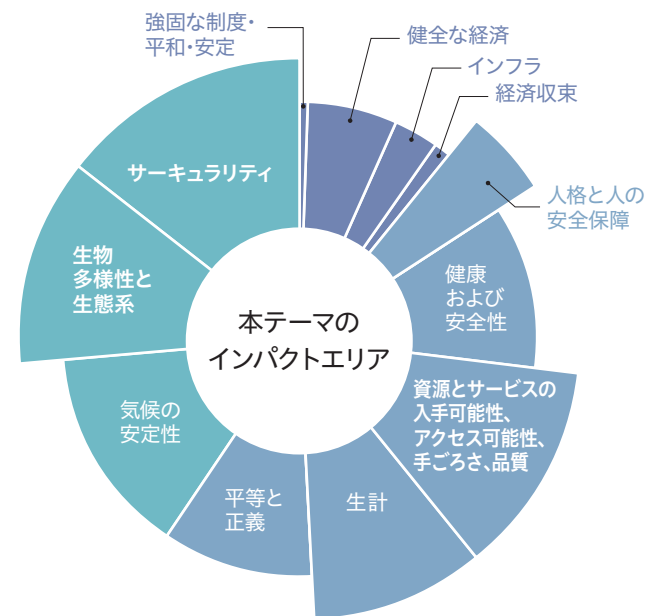
- ・生物多様性と生態系
- ・資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質
- ・サーキュラリティ
- ・人格と人の安全保障
- ・生計

具体的な取り組みとインパクト

森林の多面的機能(生物多様性保全、土砂災害防止機能/土壌保全機能、水源涵養機能、物質生産機能等)の発揮

インパクト発現のためのKPI

森林認証取得率(海外・国内)



5ページのインパクトエリアのうち、上記拡大した項目は王子ホールディングスの取組の影響範囲を表しています。

王子の森

王子グループは、2024年度末時点で、国内外に636千haもの広大な森林を保有・管理しています。その内訳は、環境に配慮しつつ木材生産を主目的とする生産林が

生産林

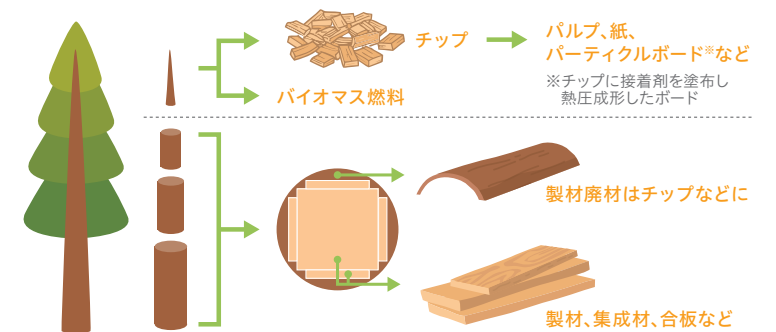
王子グループは、世界各国で植林事業を展開しています。地域ごとに最適な計画を策定し、地域の気候や土地条件に合った適切な樹種の開発・選定や施業方法の改良を続けることによって、森林の生産機能を高め、品質の

472千ha、生物多様性や流域保全等の公益的機能の維持を主目的とする環境保全林が164千haです。

良い木材を生産するとともに、安定供給を通して収益性の向上を図っています。木を植え、育て、伐採した後、再植林する循環によって、森林は絶えず成長し、木材などの様々な製品として永続的に利用することができます。

また、伐採した木材を製材、合板、製紙用チップ、木質バイオマス燃料など、さまざまな用途に活用することで、木材を余すことなく利用(カスケード利用)し、経済性を維持しています。

生産林として森林が維持されることは、木材利用に留まらず、地域住民による林産物の採取・利用や、野生動物の移動路としての役割など生態系がもたらす恩恵(生態系サービス)を得る上でも役立っています。このような取り組みによって、王子グループは総合林産業として、木材の持続可能な利用を推進しています。



環境保全林

王子グループは、森林の持つ環境的価値にも着目し、環境保全林の整備・管理にも力を入れています。これらの森林は、生物多様性の保全、水源涵養、土壌保全、炭素吸収など、地域の自然環境を守る重要な役割を担っています。2050年に向けた長期ビジョン「環境ビジョン2050」では、

「ネット・ゼロ・カーボン」と「自然との共生」の実現を目指しており、環境保全林はその実現に向けた重要な取り組みのひとつです。地域社会との協働のもと、適切な管理を行うことで、自然資本としての価値を高め、企業としての持続可能な成長にも寄与しています。

持続可能な森林経営のためのさまざまな取り組み

ブラジル・CENIBRA社における森林火災防止への取り組み

近年、大規模な森林火災が頻発し、グローバルな課題として急浮上しています。こうした中で、ブラジルで植林・パルプ製造事業を展開するCENIBRA社では、保有する25万haの森林において、人工知能(AI)を活用した革新的な防火システムを導入しています。森林内に、360度をカバーする回転式カメラを備え付けた監視塔を39基保持。AIが煙や火を検出すると、最短距離にいる消防隊員にモニター室から連絡が入り、速やかに消火活動を行う仕組みとなっています。



早生樹の植林によるCO₂吸収の促進

広葉樹のユーカリやアカシア、針葉樹のラジアータパインなどの早生樹は、初期成長が早く、一般的に初期成長期の植林地は成熟した天然林よりCO₂吸収能力が高いと言われています。また、樹種・使用目的ごとに最適な時期に伐採することで、効率的な木材生産を可能にし、CO₂吸収能力が高い状態で植林地を維持しています。



より豊かな森づくりのための樹木の品種改良や施業改善

アジア農林技術センターでは東南アジアの植林プロジェクトをベースに、植林木の生産性の維持・向上を目的として、現地に即した研究技術開発を行っています。成長が早く品質の良い品種を植林し、植林木の品質および収穫量を改善することは、植林事業の収益性向上ばかりでなく、天然林の違法伐採低減による天然林保護にもつながります。



02 グリーンファイナンス

フューチャートラストは、環境問題の解決につながるプロジェクトを充当資金対象としてファイナンスを行っています。その1つが環境配慮型不動産「グリーンビルディング」です。このページでは、脱炭素社会の実現に向けて重要な役割を担うグリーンビルディングについてご紹介します。



建物から考える脱炭素化

気候変動への対応が世界的な課題となる中、建築物分野は日本のCO₂排出量の約4割※を占めており、建物の環境性能向上は脱炭素社会の実現に向けた重要な取り組みです。建物は建設および解体時だけでなく、利用時の照明や空調、給湯などにも多くのエネルギーを使用しています。そのため、省エネルギー性能や再生可能エネルギーの活用などを通じて、建物のライフサイクル全体で環境負荷の低減を目指すグリーンビルディングへの取り組みが進められています。

※出所：国土交通省「建築物のライフサイクルカーボンの算定・評価等を促進する制度に関する検討会」

環境と快適性を両立する建物

グリーンビルディングの価値は、CO₂排出量の削減や省エネルギー化だけではありません。近年は、快適性や健康性、防災性なども建物の重要な要素として評価されています。自然光や自然換気の活用、高効率設備の導入などにより、省エネルギー化と快適な空間づくりの両立が図られています。建物には、環境負荷の低減だけでなく、人々の快適な暮らしや働きやすい環境を支える役割も期待されています。

建物の性能を見える化する認証制度

省エネルギー性能や環境への配慮、快適性などを第三者機関が評価する認証制度が整備されています。代表的なものとして、日本ではCASBEE、BELS、DBJ Green Building認証などがあります。こうした認証は、一度取得して終わりではなく、建物の運営状況や性能向上の取り組みを継続的に確認し、更新や再評価が行われるものもあります。

近年は、新しい建物を建設するだけでなく、歴史や地域の記憶が刻まれた建物を改修しながら活用する取り組みにも注目が集まっています。建物を解体して建て替える際には多くのCO₂が排出されるため、既存建物を長く使うことは環境負荷の低減につながります。また、伝統ある建物を受け継ぐことは、その土地の文化や歴史を未来へつなぐことにもなります。古いものを大切に生かしながら、新たな価値を生み出していくことは、豊かな未来につながる大切な取り組みです。



東京駅



グラングリーン大阪



京都市京セラ美術館

掲載している写真は既存建物の活用や都市再生の参考事例であり、フューチャートラストのグリーンファイナンス資金充当対象物件ではありません。

グリーンファイナンスの取組における成果

フューチャートラストの資金を充当した再生可能エネルギーの案件によるCO₂排出量の削減効果は17万5,704トンです。

年間CO₂排出削減量

175,704 t

再生可能エネルギーカテゴリー別残高一覧(2026年3月末)

種別	案件数	当社融資残高	CO ₂ 排出削減量(t-CO ₂) ※当社寄与分のみ
太陽光	15件	904億円	169,493
風力	1件	9億円	6,211
合計			175,704

グリーンビルディングカテゴリー別認証数および認証レベル(2026年3月末)

種別	案件数	当社融資残高	認証数	適格認証
リテール (商業施設)	2件	128億円	2	CASBEE/S、CASBEE/A
レジ(居住用)	12件	314億円	24	CASBEE/S、CASBEE/A
物流	19件	836億円	15	CASBEE/S、CASBEE/A BELS ★5、BELS ★4、DBJ ★5
オフィス	3件	145億円	3	CASBEE/S、CASBEE/A

LEED(リード) Gold、Platinum 等の4段階

1998年に米国で創設されたグリーンビルディング認証制度。省エネルギーや資源利用、室内環境などを総合的に評価し、現在は世界各国で活用される国際的な認証制度です。

BREEAM(ブリーム) Excellent、Outstanding 等の5段階

1990年に英国で創設された世界初の環境性能評価制度。エネルギー効率や資源利用、健康・快適性などを幅広く評価し、多くの認証制度の基礎となりました。

CASBEE(キャスビー) C、B-、B+、A、S の5段階

2001年に日本で開発された建築環境総合性能評価システム。建物の環境品質と環境負荷を総合的に評価し、日本の気候や都市環境に適した認証制度です。

DBJ Green Building認証 ★～★★★★★

2011年に日本政策投資銀行(DBJ)が開始した認証制度。環境性能に加え、快適性、防災性、利便性など、利用者視点も重視して評価することが特徴です。

BELS(ベルス) ★1～★6

2014年に創設された建築物省エネルギー性能表示制度。省エネ性能を星の数で分かりやすく表示できるため、利用者や投資家が性能を比較しやすい仕組みとなっています。

物件名：那須ガーデンアウトレット
所在地：栃木県
認証：CASBEE(キャスビー) S



那須ガーデンアウトレット

物件名：ロジポート多摩瑞穂
所在地：東京都
認証：CASBEE(キャスビー) S



ロジポート多摩瑞穂



「1.5℃の限界に、いま私たちは立っている」

気候変動はすでに、私たちの暮らしに直接影響を及ぼし始めている。世界が掲げる「1.5℃」という目標は達成できるのか——。本対談では、東京大学未来ビジョン研究センター教授 江守 正多氏と三井住友信託銀行 三宅 香が、温暖化の現状とリスク、そして社会と個人の選択について語り合う。

■テーマ①:「1.5℃はもう目前にきている」

三宅:最近ニュースなどでよく聞くパリ協定ですが、改めてどんなものなんでしょうか。

江守:一言で言うと、世界全体で協力して温暖化を抑えようという国際的なルールです。産業革命以降、続いてきた世界の平均気温の上昇を「2℃より十分低く」、できれば「1.5℃」に抑えることを目標にしています。

三宅:最近「1.5℃を超えた」という話もよく聞きますよね。

江守:2024年は単年では1.5℃を超えました。ただ長期的な平均ではまだで、とはいえ直近5年で約1.4℃まで来ているので、かなり目前なのは確かです。

三宅:もうすぐ、という感覚ですね。温度が上がると、何が一番問題なんでしょうか。

江守:そこで重要になるのが「ティッピングポイント」です。気温が上がると影響は少しずつ出てきますが、あるラインを超えると、急に大きな変化が起きて、しかも元に戻せなくなることがあります。その境目がティッピングポイントです。

三宅:一線を越えると、一気に変わるイメージですね。

江守:例えば、グリーンランドや南極の氷の減少が加速したり、永久凍土が融けたり、サンゴ礁が広い範囲で死滅したり、いったん進むと止めるのが難しいのが特徴です。1.5℃を超えると、そうしたリスクが起きるティッピングポイントを迎える可能性が高まると考えられています。

三宅:社会への影響も大きそうですね。

江守:特に島国や乾燥地域では、海面上昇や干ばつで生活そのものが成り立たなくなる可能性があります。つまり、1.5℃というのはただの目標ではなく、取り返しのつかない変化に踏み込むかどうかの境界線です。そして私たちは、すでにその直前にいると言えます。

■テーマ②:「止められるのか、間に合うのか」

三宅:その温暖化を止めるにはどうすればいいのでしょうか。

江守:大前提はCO₂の排出をゼロに近づけることです。そのために、エネルギーを化石燃料から再生可能エネルギーに転換していく必要があります。

三宅:かなり大きな転換ですよね。実現できそうでしょうか。
江守:簡単ではありませんが、明るい材料もあります。再生可能エネルギーは着実に広がっていて、太陽光の低価格化や蓄電技術の進展によって、途上国でも導入が進んでいます。

三宅:世界的に広がっているんですね。

江守:新しく増える電力の多くは再エネで賄われつつありますし、今後は発電の中心が徐々に移っていく兆しも見えています。

三宅:課題はあるにせよ、前に進んでいるところもあるんですね。

江守:簡単ではありませんが、方向としてはすでに見えています。それをどれだけのスピードで進められるかが、今後の大きな分かれ目になります。

■テーマ③:私たちの生活はどう変わるか

三宅:温暖化が進むと、私たちの生活にはどんな影響がありますか。

江守:例えば、昨年のような猛暑がさらに増えて、外で長時間活動するのが難しくなります。また日本では、線状降水帯による豪雨も増えていくと考えられます。

三宅:かなり身近な問題ですね。ただ、「1℃」と言われても、あまり大きな変化に感じない人も多そうです。

江守:でも地球規模で見ると1℃はとても大きい変化です。例えば、約2万年前の氷河期における平均気温は、今より5～6℃低いだけなんです。その差で地球環境はまったく違う状態でした。

三宅:5～6℃でそこまで変わるんですね。

江守:そう考えると、1℃の上昇でも大きな意味を持つことがイメージしやすいと思います。そしてこうした変化は、これから起きるものではなく、すでに始まっています。



■テーマ④:私たちに何ができるのか

三宅:こうした中で、私たち一人ひとりは何を意識すればいいのでしょうか。

江守:大きな買い物をするときにひとつのポイントです。例えば車や住宅を選ぶときに、電気自動車や省エネ住宅など、環境に配慮したものを選ぶことです。また、そのような選択を促進するような制度に賛成していくことも重要です。

三宅:なるほど、生活の中の選択が重要になると。

江守:それと同時に、日常の中でこうした問題を話題にすることも大切です。「暑い」で終わらせずに、その背景まで考えてみる。そうした意識の積み重ねが社会の流れを変えていきます。

三宅:一人ひとりの意識が、全体につながっていくわけですね。

江守:気候変動は、もう未来の話ではありません。このまま進めば、私たちの生活そのものが変わっていきます。だからこそ、「何を選ぶのか」を問われているのは、国や企業だけでなく、私たち一人ひとりです。その選択の積み重ねが、これからの社会の方向を決めることになります。

江守 正多氏 プロフィール

東京大学教養学部卒業。同大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。1997年より国立環境研究所に勤務。現在、東京大学未来ビジョン研究センター教授。総合文化研究科教授を兼務。気候変動に関する政府間パネル第5次、第6次評価報告書主執筆者。



三宅 香 プロフィール

三井住友信託銀行サステナブルビジネス部所属。イオン株式会社で執行役として環境・社会貢献、PR・IR分野を担当し、2022年に同行入社。日本気候リーダーズ・パートナーシップ(JCLP)共同代表を務めながら、脱炭素経営やESG推進に取り組んでいる。



対談を終えて

今年の夏は、気候変動が私たちの日々の生活に直接影響を与えつつあることを改めて実感する毎日です。日々の行動が制限されるだけでなく、命の危険さを感じ、農産物の収穫量や家畜への影響も現実のものとなりつつあります。更に、パリ協定が締結された約10年前の想定を上回るペースで温暖化が進行しているとされており、江守先生の話にもあった通り、一刻の猶予也没有。また、「脱炭素社会の構築」は、将来世代のための持続可能な社会という視点のみならず、最近では地政学的リスクの観点からも重要であると言われています。永遠に毎年輸入し続けなければならない化石燃料に依存せず、一度設置すれば長期間にわたりエネルギーを生み出すことができる太陽光や風力発電等の再生可能エネルギーの重要度は増えています。日本のエネルギー転換に向けて官民、そして国民が一体となって取り組む事が重要だと改めて感じました。

三宅 香



<https://www.smtb.jp/>

フューチャートラスト

検索

詳しくはお近くの店舗または当社ホームページにてご確認ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



CARBON EMISSION
7,564 ▶ 7,136 kg-CO₂e
この印刷物は、Scope1,2のGHG排出量が実質ゼロで稼働するカーボンゼロエネルギー工場で印刷しています。
CZE-26-0037130 (55,000copies)

2026年8月現在
A1561